

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023～24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦
幹事 村上 堅二



第1796回例会

令和6年3月7日(12:30～13:30)

○ソング

君が代 奉仕の理想

○ビジター

石川RC創立40周年記念式典実行委員長 佐川保博様、副実行委員長 渡邊忠栄様、新入会予定者 齋藤愛様

○スマイルBOX

●石川RC 渡邊忠栄様、佐川保博様（本日は創立40周年のPRにお伺いしました。来たる5月12日の記念式典には、多数の登録と御来臨をお待ち申し上げます。）

●佐藤幸彦会長（石川RC 佐川様、渡邊様、ようこそ。又、丘の上幼稚園 齋藤様、入会お待ちしております。誕生日プレゼントありがとうございました。）

●村上堅二幹事（本日はライラ研修発表、石川会員ありがとうございました。石川RCの渡邊様、佐川様、ようこそ。齋藤様、御入会お待ちしております。）

●山縣栄寿会員（またひとつ年をとりました。今後共、よろしく願います。）

●永野文雄会員（ゲスト石川RC、佐川様、渡邊様、ようこそ。齋藤愛様お久しぶりです。入会をお待ちしています。RYLAの石川委員長さん、卓話ありがとうございます。）

●金田昇会員（石川RC 佐川実行委員長、渡邊副実行委員長ようこそ。ご盛会をお祈りしています。齋藤愛さん、入会楽しみにしています。）

●沼田重一会員（結婚記念日のお祝いありがとうございます。又、石川会員、研修報告ありがとうございます。あまり出席できていないので、今後、出席に向けてがんばります。）

●佐川京子会員（石川RCの皆様、齋藤様ようこそおいでくださいました！今日、私は結婚記念日とお誕生日のお祝いを頂戴いたしました。ありがとうございます。健康にも気をつけながら頑張っていきたいと思えます。皆様これからもよろしく願います。）

●宮本多可夫会員（本日は、石川RC 佐川様、渡邊様、ようこそ。齋藤愛さん、新入会お待ちしております。）

▶第1796回例会出席状況 (R6年3月7日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	55名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	69名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	33名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	63
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	52.3%

本日のプログラム

■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さん、こんにちは。まず初めに、本日のお客様を紹介させていただきます。石川ロータリークラブ40周年実行委員長、佐川様。同じく副実行委員長、渡邊様。後程、PRがあると思いますのでどうぞよろしくお願ひしたいと思います。もう一方、お客様を紹介させていただきます。丘の上幼稚園園長でございます齋藤様。仮入会ということで今年度5人目の会員になる予定でございますので、また齋藤様にも後程一言自己紹介を含めていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。さて、昨日でございますがスキー愛好会の「そうだマウントジーンズへ行こう」という事業を開催させていただきました。3人だけの参加でありましたが、金田会員、諸橋会員、私と。また、私の妻と娘、合計5人で行ってまいりました。ゴンドラに乗って頂上、ゴンドラから降りまして1~2分で頂上の展望台に行けるわけなんです、頂上に積雪20センチくらいありまして、曇りだったもんですから那須連峰はうっすら那須のロープウェイとかうっすら見える程度でありましたが、無事行ってまいりました。ちなみに、金田会員は体幹を鍛えてるだけあってバランスのいい非常にいい滑りをしておりました。諸橋会員は私と一緒に滑るのが初めてだったんですが、本人曰く久しぶりと言っておりましたが、かなり上手でした。足を揃えてバーッと急斜面でも滑ってきますし、非常に普通1~2年ではあそこまで上達しないというような素晴らしい滑りをしておりました。また、私マウントジーンズの回し者ではないんですが、あと3日で本当にクローズしてしまうということでございますので、あと3日、行かれる方は是非行ったほうがいいんじゃないかなと思っております。ちなみに、永野会員は本日奥様と午後から行ってくるそうでございますので、是非本日はかなり天気が良いので眺めを見てきたらいいかと思ひます。ちなみに、金土日3日間しかないんですが、土日はここのところ入場制限がかかっております。駐車場が満杯になって入れない状態がずっと続いておりますので、土日行かれる方は朝早く行くか、もしくは諦めるしかないかと思っております。さて、ロータリーですがホームミーティングがだいぶ開催されております。ホームミーティングはみんなで楽しくやっていただきたいと思ひますので、是非楽しんでいただければと思ひます。また、まだ仮報告なんです、3月末阿部次年度のP E T S 報告の予定であります、急遽ファイヤーボイズの講演をしたいということが入っておりますので、まだ理事会通っておりませんが、理事会通りましたら正式に発表させていただきますと思ひます。さて、本日はR Y L A の報告会とい

うことで石川会員はじめ行かれた方の報告をお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上、会長挨拶とします。よろしくお願ひします。

■幹事報告

村上堅二幹事

- 福島中央ロータリークラブ会長 山田稔：例会場変更のお知らせ
- ガバナー 右近八郎、地区大会実行委員会委員長 渡辺健寿

○石川ロータリークラブ

40周年実行委員会副実行委員長

渡邊忠栄様



どうも皆さん、こんにちは。石川ロータリーから参りました渡邊、佐川です。この度、石川ロータリーおかげさまで40周年を迎えることができます。その式典のPRに参りました。今回、副実行委員長をさせていただきます。会場は「八幡屋」で当館でありまして、皆様方を心から歓迎申し上げますので是非ご参加よろしくお願ひいたします。詳しくは実行委員長の佐川のほうから報告させていただきます。よろしくお願ひいたします。

○石川ロータリークラブ

40周年実行委員会実行委員長

佐川保博様



只今ご紹介頂きました実行委員長の佐川でございます。人物からいっても年齢からいっても本当は渡邊さんが実行委員長で私副委員長ぐらいがちょうどいいんですけども、いろんな流れで実行委員長やることになってます。只今お話がありましたように、来たる5月12日日曜日に40周年の記念式典を母畑温泉の「八幡屋」さんで行うことになっております。中身ですけども、登録開始午後からということで2時から記念式典。それから、3時45分から記念講演ということで、講師は学法石川高校野球部の佐々木順一朗監督に講演していただくことになりました。まもなく甲子園に行ってきますけども、その辺も含めてお話しいただけるのではないかと思ひます。そして、ウェルカムアトラクションということで、祝賀会の前に学法石川高校のチアリーディング部全国大会入賞してるということで、その辺をさせていただくことにこれになっております。残念ながらお酒の席は遠慮してくれということで、事前のアトラクションということになりますけども、その後すぐに懇親会ということで今度は和気あいあいと皆さんに飲食を楽しんでいただくということに考えております。なお、登録料につきましては一万円でございます。それから、式典に先立ちまして記念ゴルフコンペを開催いたします。通常ですと翌日というのが流れなんですけども、幸いと言いますかね、連休の最終日、振替休

日5月6日が休日ということで、その日に記念コンペを開催させていただくことになりました。「白河国際カントリー」で行います。こちらもどちらも皆さん方のほうにご案内がクラブのほうには届いていることと思えますけれども、多数の登録をしていただき、また多数ご参加いただけることをお願いいたしまして、40周年記念の式典のPRにさせていただきます。よろしくようお願いいたします。ありがとうございました。

■入会希望者紹介

○藤田龍文会員



皆さん、こんにちは。入会希望者を本日ご紹介したいと思います。通常ロータリーですと、皆さんにロータリーの良さをお伝えしてお誘いするという形が多いかと思うんですが、今回の入会希望者自ら入会したいということで来た。決して誘っているわけではないので、その辺はご承知いただければと思います。齋藤愛さんは実は私の妹でして、ちょっと身内で入るのも何かと思ったんですが、彼女自体は西ロータリーが生まれた当時の交換留学生で、西ロータリーからアメリカに高校時代に一年間留学させてもらったという経験もありますので、私なんかよりもロータリーの事業を昔から知って体感してるというので。こういう私よりはしっかり向いてるのかなと思います。あと何より義理の兄が齋藤孝弘先輩ですので、逆に取り扱い注意していただければと思います。よろしくようお願いいたします。あとは詳しい説明は本人からしていきたいと思いますので、どうぞよろしくようお願いいたします。

○入会予定者



はじめまして。只今、ご紹介に預かりました齋藤愛と申します。自己紹介をしようと思ったことをすべて兄に話されてしまったので、そのような形なんですけど私自身としましては白河市の立石山にごぞいませ「学校法人藤田幼児教育学園丘の上幼稚園、丘の上保育園」の園長をしております。当園は来年で設立45周年を迎えます。従業員、今、保育士、教職員が35名ほどの企業となっております。私自身去年、父母が園長を引退しまして、今年度から幼稚園と保育園の園長をしています。いろいろと自分自身も勉強の学びの場がなければやっぱりいけないということで、いろいろ兄等に相談をした結果、やはり私自身ここでお世話になった経緯なんかも振り返りますと、人生の先輩方だったりとか、いろいろな企業でご活躍されている皆さんのいる場に参加させていただいて、地元を通して子供たちの育成だったり地域貢献に学びの場として参加させていただけたらということ、今回出席をさせていただきました。本当に思い起こすと高校2年生の時に、この場で

齋藤愛様

多分当時初めての西ロータリーからの交換留学生だったというふうに記憶してるんですけども、その場に立ったことを思い出して、ちょっと写真なんか引張り出してきて見たりしました。その時は、アメリカのペンシルバニア州のセントラルハイスクールという所に留学をさせていただいたんですけども、本当に今それで英語に携わる仕事をしているとかいうことではないんですけども、やはりその時にいろいろ経験させていただいた、まあ大変な事も沢山あって、楽しい事も沢山あってということが今に生かされているんじゃないかなというふうに思います。そういう経験をやっぱり私としては今の職業をとおして小さな子供たちだったりとか、そういうことに還元できたらなというふうに思っております。ただ、本当に何もわからないことも沢山あって、お恥ずかしいことも沢山するかもしれないんですけども、どうぞ皆さんいろいろなお指摘をいただきながら、一日一日学びを深めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくようお願いいたします。

■委員会報告

○親睦委員会

山縣英寿委員

【結婚記念日】

鈴木浩一郎会員、片倉義文会員、沼田重一会員、佐川京子会員、松永紀男会員

【誕生日】

矢田部錦四郎会員、佐藤幸彦会長、佐川京子会員、櫻岡敏之会員、佐藤礼子会員、山縣英寿会員



○雑誌広報渉外委員会

前原俊治会員



雑誌広報委員の前原です。『ロータリーの友』3月号の記事のご紹介をしたいと思います。まず最初に、縦組みの7～15ページ、こちらに「トイレ、その先へ」という特集記事が組まれております。この中で私もちょっと初めて知ったんですが、ロータリークラブの初の奉仕活動が、アメリカのシカゴ市の公衆トイレの寄贈だったという記事が載っておりました。その他に、このページにおいて各国のトイレ事情とかなんかいろいろ紹介されておりますので、是非読んでいただければというふうに思います。その中で、15ページに日本のファブリックトイレの最前線という記事が載っております。昔の日本の公衆トイレというのは非常に汚くてですね、入りたくないという感じでいたんですが、最近のサービスエリア等のトイレ非常に綺麗で、非常に心地よいトイレになっております。その辺の事情も15ページに書いてありますので、是非読んでいただければというふうに思います。あと、横組みの20～23ページ、「感染症との闘い～ポリオ根絶とロータリー～」という記事

が載っております。これは、皆さんもご存じだとは思いますが、コロナの時ですね有名だった尾身茂さんの講演の内容でございます。ポリオ根絶は、国際ロータリーの中で重要なテーマになっておりますので、是非読んでいただければというふうに思っております。今度は縦組み、4~8ページに渡りまして、「福島に職住を定めた私 廃炉と復興への思い」という記事が載っております。これは、木野正登さんという方の投稿というか講演のお話ですけど。木野さんは東京の経済産業省に勤めておりまして、福島の事故がありまして福島の方にいらっしやう方だったということでございます。主に、広報を担当されている方ということになります。木野さんが当初、福島に来た時、すぐ東京に帰るだろうと皆さんに言われたことがありましてですね、廃炉作業というのは非常に時間が長くかかるということで、福島の方に定住して復興に力を貸したいということで、そういう関係の記事が載っております。最近ではですね、テレビやなんかでも原発の汚染水の排水問題ですか。こういったこともニュースになっておりますが、その他いろいろ記事が載っておりますので、是非読んでいただければと思っております。その他にもいろいろ記事が載っておりますので、是非読んでいただければというふうに思います。以上です。よろしくお願ひします。



■本日のプログラム

R Y L A 研修報告会

○国際ロータリー第2530地区

青少年奉仕委員会 R Y L A 委員会



中目公英委員長
皆さん、こんにちは。R Y L A 研修会が終わりまして、気が抜けまして風邪をひきまして風邪声で申し訳ありません。2月24、25日、天皇誕生日の3連休の後半の2日ということで一泊二日、磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」において42回のR Y L A 研修会が開催されました。研修生が地区内で38名。そのうち、白河西ロータリーから8名の研修生を出していただきました。42回のうち、研修生になったことがあるのは吉成さんがガバナー補佐だった時の藤田龍文君ただ一人で、それ以来、急に今回8名の参加ということで。これはひとえに、金田ガバナーノミニデーグジネートとその心意気を感じていただきました石川さんのお力添えだと思っております。38名の皆さん方に今年のテーマ、「福島から世界の平

和と国際協力を考えてみよう」というテーマのもとで一泊二日の研修をいたしました。研修の内容はこの後、石川さんから報告をいただきます。仕事の関係で、途中で石川さんの従業員の皆さんちょっと帰られたもんですから、終了証を渡していなかったの、この場から右近ガバナーに代わりまして金田昇ガバナーノミニデーグジネートのほうから石川さんのほうに、R Y L A 研修生の終了証を渡していただきたいと思っておりますので、金田昇ガバナーノミニデーグジネート、石川さん、どうぞ前のほうにお越しく下さい。じゃあ、右近ガバナーに代わりまして4名分お願いいたします。

○金田昇ガバナーノミニデーグジネート

それでは、R Y L A 研修の終了証をお渡します。4名の方なんですけども、同じものですのでまず名前を先に。菊池楓希さん。高橋治生君と近藤あゆみさん、鳥井遥翔さんの4名の方、参加していただきました。代表しまして、「菊池楓希殿 地域社会で世界で発揮できるリーダーシップの力を身に付けるべく2530地区クラブのロータリー青少年養成プログラムのカリキュラムを終了したことをここに証明します 2024年2月24、25日 R Y L A 研修2530地区ガバナー右近八郎」です。よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。



○中目公英委員長

8名もの研修生を出していただきました。西クラブの負担も大変沢山出していただいておりますので、ご協力ありがとうございました。それでは、内容は石川さんのほうからお願いします。

○石川格子会員



改めまして、石川です。今日はR Y L A 研修会の報告ということで、私のほうからお話しさせていただきます。今日、月初めで時間が少ないので15分弱ぐらいでお話しさせていただきます。皆さんの手元には裏表の資料をお渡しさせていただいたんですが、本当は資料なしでいいかと思ったんですが、資料があったほうが話が聞きやすいということで、社員から指摘がありまして急遽印刷しました。なので、許可を取ってないページが沢山ありまして、特に渡部陽一さんのホームページとかそのまま載せてるので、是非門外不出でお願いいたします。資料は投影しながら説明させていただきます。先程、ご紹介にあつたように当社の社員から4名輩出させていただきました。皆さんには金銭面でも大変お世話になりました。後程、社員の感想も交えてご報告

させていただきます。RYLAについてなんです、私もちょっと不明確な中で研修に参加させていただきました。RYLAというのは、ロータリーユースリーダーシップアワードということで、青少年指導者養成プログラムの略になります。地域でリーダーシップを發揮したいとか、可能性を広げたい、世界を変えたいという若者を中心にバックアップをするためのプログラムになっています。参加者は先程もお話にあったように西ロータリークラブから3名、それから研修生として所属会社のほうも記載させていただきました。計8名ということでご覧のとおりとなっております。推薦クラブからは先程もありましたけれども、白河西クラブがダントツの1位で8名輩出ということで、その他、福島、保原と続いてご覧のとおりです。人数の年齢分布なんですけれども、ちょっと事務局集計で5名ほど年齢を公表したくないということで、参加者38名中33名の集計になりますが、やはり20代と30代の参加者がほぼほぼで多かったなというところです。50代は一人いたというところで。プログラムなんです、一日目2月24日は講演会、それからワークショップがメインとなりました。戦場カメラマンの渡部陽一さんの基調講演。それから、ルワンダミヨベプロジェクトということで、保原ロータリークラブの岩淵さんから。それから、ワークショップということでJICA、皆さんには馴染みのあるところと、青年海外協力隊の二本松の井上さんからワークショップをしていただきました。その流れでグループディスカッションということで、研修生を中心としたグループディスカッションが進められました。この基調講演ではですね、渡部陽一さんから「戦場からのメッセージ ファインダー越しに見た命の現場」ということで、「こんにちは」というところから基調講演が始まりまして、そこから90分だったんですが、あっという間の楽しいと言ったらちょっと語弊があるんですけども、すごく引き込まれる内容だったので渡部陽一さんのイメージがガラッと変わりました。何故彼がこの職業を選んだのかという話が最初になされたんですが。明治学院大

学、本当は早稲田大学に入りたかったそうなんです、明治学院大学の一年の授業の時に、先生からアフリカの話があったということで。アフリカの中のツチ族とか、そういった狩猟民族、狩猟生活をしている民族の話が合って、実際に見に行きたいというふうに思ったそうです。渡部さんは実際に見に行ったということで、たまたまその時期が皆さんご存じかわかりませんがルワンダ大虐殺って100万人くらい虐殺されたと言われている1994年の出来事なんですけどその真っ最中だったそうで、その地域に行きましたら小学生かそれ以下の子供たちに、血だらけの子供たちに助けを求められて彼は何もできなくて帰ってきたと。その状況を手ぶらで行ったものなので、口頭で周りの人に説明したら何も伝わらない。じゃどうしようとなった時に、小さい頃から趣味だったカメラ、ファインダー越しに皆さんに現状を伝えたいということで、この戦場カメラマンという職業を選んだそうです。戦場の実際なんですけれども、勉学を禁止されている地域があったりですとか、病院でもやはり金銭面でも衛生面でもそうですができることが限られていたり、二次戦争被害とってウラン弾とか、その被害を受けた人の次世代、またその次世代に体に影響があったりとか、地域に影響があったりとか、そういった戦場の実際をお伝えいただきました。どの戦場に行っても共通していることがあるそうで、共通していることは子供が必ず犠牲になってる。その現状があるということでお伝えいただきました。おまけで、戦場での食べ物をご紹介いただいたんですが、皆さん知ってますか。フンモスとかフムス、ホムスというらしいんですけども。戦場では何を食べて生活してるんですかという質問がよくあるそうで、ひよこ豆をペーストにしてレモン果汁、それからゴマ、オリーブオイルを混ぜ合わせたエネルギーがすごくある食べ物。これをパンに付けて食べて生活をしているというお話で、最近はスーパーフードになりまして、なんかこの辺でも売ってるというお話を聞いたんですけども、是非見かけたら食べてみてください。味の無いピーナツクリームがすっぱい感じ



ということでした。それから、二つ目の講演でしたが「ルワンダミヨベプロジェクトの体験から若い世代に伝えたいこと」ということで、アフリカの大体中心にありますルワンダという国のミヨベ地区。そこで保原ロータリークラブ、それから「NPO法人のルワンダの教育を考える会」というものが福島県内にあるそうでタグを組みまして、その地域に行き水、衛生を保つための雨水の貯水装置の技術をお伝えしたり、農業とか土木の技術をお伝えすることで、その貧困地域、発展途上国の地域の自立支援を目指すための活動をしているということ、その現状をお伝えいただきました。この講演をとおして若い世代に伝えたいことということで、ちょっと資料とお話が多かったのですが、結果が出るまでルワンダミヨベ地区では3年という短期間でずいぶん地区が変わったそうです。いろいろ構想を練ってこの地区に入ったそうですが、まずは構想を沢山練るよりもまずはやってみるということであったり、思いがブレないという姿勢。それから、どんなゴールにこの地域をさせたいのかという目的。それから、自分の意見だけではなくていろんな人の話、いろんな視点から物事を考えるということだったり、情熱を持って活動する。こういうことが大事なんだよという事で、この活動の内容を通してお伝えいただきました。それから、一日目の最後になりますが、青年海外協力隊の井上さんからは世界の食卓というものを通して、グループディスカッションでは事業構想、今私たちに取り組めることは何かという事業構想を考えるグループディスカッションまでも進めていただきました。実はその世界の食卓を通して考えることは様々で、世界の人口は1960年には30億。2024年、今年80億。そして、2080年には104億人というふうにいわれています。世界の人口が増える中で日本の人口は減っているという現状の中で、できることを考えていただきたいというお話もありました。開発途上国、皆さんに馴染みのある言葉だと発展途上国。これは他国から支援を受けて成り立っている国どのぐらいありますかということ、世界196か国中145か国が何らかの支援を受けて成り立っているということでした。今では、発展途上国と開発途上国というのは意味合いが一緒だそうで、発展途上国というのはあまり明確な基準がなかったということなんですけれども、途中から産業とか経済、技術の開発が著しく発展しているというのを基準にしようというので、今では開発途上国というふうに言うことが多いそうです。ということで、ご覧ください。そして、この地図は先進国とそれ以外の発展途上国、開発途上国の様子なんですけど、よく南北問題と言われますが上のほうが黒くなっていますがそこが先進国です。下のほうは温かい地域が多いんですけども、輸出輸入の際に安価で取引をされることが多いことから、発展しづらい地域というふうに言われているそうです。今では、GNP国民総生産で基準を定めるよりも、G

NI、インカム、国民総所得で発展途上国、それから先進国の違いというのを基準を設けているそうです。大体、国民の総所得が11万円以下という基準があるそうです。ということで、研修生の感想が足早にお話ししてまいりましたが、当社4人の研修生の感想でした。20代の彼は自分より日本語を理解して課題に向かって話しているのを見て刺激になりましたということ、実は日本語が喋れない研修生も中にいまして、身振り手振り携帯とかを使いながら通訳しながらやりました。それから、普段から会社で言われている一つのものをいろんな方向から捉えることの大切さを再認識しました。女性2人も出ましたが、初対面の人と話し合うことが苦手だということ、全然喋れなかったけれどもすごく学びになりました。それから、もっと知見を広げていろんな視点から物事を考えるような人になろうと思いましたがということで、ロータリーとしてはリーダーシップを養うそういったプログラムですが、当社としては社員を輩出したことで最高の研修というふうになったなとすごく感じました。また、来年以降も機会があれば輩出させていただきたいなと思います。以上です。ありがとうございました。

○中目公英委員長

発表ありがとうございました。RYLA青少年指導者養成プログラムは、大変青少年奉仕の中では多くのクラブが参加しやすい、インターアクトクラブを作ってくださいとか、ローターアクトクラブを作ってくださいとか、あと齋藤愛さんのようにイクスチェンジの交換学生を出してくださいというのはハードルは高いのですが、RYLAのほうは大変その意味ではハードルは低いので、来年以降も参加していただければありがたいと思っております。おかげさんで日本ロータリー34地区あるのですが、2530地区今年がこの全国の地区の研究大会を今年の6月の8、9の一泊二日でやることになっています。その全国34地区で200人くらい集まるんですけど、その中で2530地域の今年のRYLA研究会の報告を、地区を代表してRYLA委員長の私が喋れと右近ガバナーからこの間言われて驚いているようなところで。それもこれもこんな役目を仰せつかるのも、西クラブの母体があったからだと思っておりますので、ひとつ今後ともお力添えいただければと思っております。今日のRYLA研修会の報告、本当にありがとうございました。